



新庁舎建設通信 第18号 令和8年2月4日



新庁舎の床面について

執務室

タイルカーペット (イメージ)



OAフロア (イメージ)



執務エリアの床面は、これまでのPタイルから「タイルカーペット」に変更となる予定です。タイルカーペットは、歩行時の音を抑えられるほか、汚れた部分だけを張り替えられるため、維持管理の面でも優れています。

また、執務室の床は「OAフロア」を採用し、電源や通信ケーブルなどの配線を床下に収める構造となります。

市民ロビーなどの執務室以外のスペースは、意匠性と耐久性を兼ね備えたコンクリート仕上げとなり、議場については、フローリング（ヘリンボーン）仕上げとする設計となっています。

コンクリート床 (イメージ)



フローリング (イメージ)



共用部

議場



現場から

現場では、屋根や窓ガラスの取り付けが進み、建物全体の輪郭がはっきりと見えるようになってきました。

建物内部では、各部屋への空調設備の設置が順次進められています。

これらの設備に加え、庁舎自体の外断熱仕様によって、これまでのように「夏は暑く、冬は寒い」といった厳しい環境から大きく改善され、年間を通して快適に過ごせるような執務環境となる予定です。



空調設備設置の様子

新庁舎建設のタイムラプス動画を公開しています！



総務部本庁舎整備推進グループ